

医療従事者の 負担軽減及び処遇改善の取組み

当院では、医師及び医療従事者の負担の軽減及び処遇改善ため、下記の項目について取組みを行っています。

【勤務医の負担軽減及び処遇改善】

1. 勤務体制及び環境

- ・連続当直を行わない勤務体制
- ・前日の終業時刻と翌日の始業時刻の間の一定時間の休息時間の確保(仮眠室確保)
- ・当直翌日の業務内容に対する配慮
- ・短時間正規雇用医師の活用
- ・大型連休時(年末年始・GW)の当直医2名、看護管理者1名体制
- ・時間外、休日、深夜の対応についての負担軽減及び処遇改善
- ・特定看護師の配置(1名)

2. 医師以外の医療関係職種による業務分担

- ・初診時の予診、静脈採血等、入院の説明、服薬指導、栄養指導
- ・医師事務作業補助者による代行入力
- ・放射線技師の宿直体制

【医療従事者の負担軽減及び処遇改善】

1. 勤務体制及び環境

- ・外来診療時間の短縮
- ・時間外労働が発生しないような業務調整
- ・外来夜勤看護師の応援体制(病棟夜勤者との連携)
- ・一時保育や夜間、病児保育が可能な保育園との連携

2. 業務負担軽減

- ・セル看護提供方式の運用
- ・看護計画作成ソフトの導入(チームコンパス)
- ・NSTチームの活動開始、及びNST支援システムの導入
- ・医師事務作業補助者の配置による病院勤務医の事務作業の負担軽減
- ・病棟事務クレークによる入院時の書類確認
- ・眠りSCANの活用による転倒転落の未然防止対策
- ・看護支援システムのテンプレート活用による看護記録の効率化
- ・言語聴覚士による摂食嚥下リハビリの早期介入
- ・調剤監査システム、PDAシステムによる監査業務の負担軽減
- ・放射線技師による造影剤注入装置の操作
- ・検査技師による静脈路に装置を接続する行為
- ・臨床工学技士による内視鏡洗浄業務
- ・遠隔読影診断結果の画像サーバーへの自動取り込み
- ・RIS(放射線科情報システム)による患者情報の自動連携
- ・汚物容器自動洗浄機の導入による業務時間短縮
- ・教育研修の機会拡大(e-ラーニング導入、オンライン研修)
- ・臨床心理士のカンファレンス参加
- ・厨房委託業者による下膳業務
- ・ニコラボによる電子化(残業申請、職員健診・ワクチン接種希望、人事意向調査)
- ・電話自動応答システムによる外線対応の負担軽減